

# 県士会 ニュース

No.234

[2025.8]



Kanagawa Association of Occupational Therapists — KAOT —

## TOPIC 2025年 神奈川県庁訪問 ~春~ ..... P. 3

|                                       |      |   |      |
|---------------------------------------|------|---|------|
| 巻頭言 .....                             | P. 1 | 各部からの報告 .....                             | P. 6 |
| 第12回 定期社員総会が開催されました .....             | P. 2 | 生活行為向上マネジメント(MTDLP)<br>推進委員会からのお知らせ ..... | P. 7 |
| 神奈川県作業療法士会2025年度新組織について .....         | P. 2 | OTが知っておくべき制度情報コーナー(第12回目) .....           | P. 7 |
| 2025年度 神奈川県作業療法士会 功労表彰 .....          | P. 2 | カナドラ!《県士会ニュース出張版》 .....                   | P. 8 |
| 登録作業療法士の誕生は2027年<br>準備は整っていますか? ..... | P. 3 | 事務局からのお願い .....                           | P. 8 |
| 理事会議事録 .....                          | P. 4 | 編集後記 .....                                | P. 8 |

## 巻頭言

### 第12回一般社団法人 神奈川県作業療法士会総会報告



一般社団法人神奈川県作業療法士会  
会長  
神保 武則

会員の皆様、県民の皆様、  
そして本ニュースを御覧の皆様、  
日頃より多くのご理解とご  
協力を頂き誠に感謝申し上げます。  
この紙面が皆様に届く

頃は、季節も真夏の入り口に差し掛かっている頃でしょうか。新規採用された皆様は元気で頑張っていますでしょうか。少しずつ職場にも慣れ始め、諸先輩たちの指導を受けながら楽しく、そして忙しくされていることと思います。

さて、2025年度の一般社団法人神奈川県作業療法士会第12回定時社員総会が、5月11日に神奈川県立かながわ労働プラザにて開催されました。当日は対面現地開催で多くの方々にご参加を頂きました。ご足労頂き心より感謝申し上げます。また、当日は早朝より会場準備をして下さった理事及び総会運営スタッフの皆様には厚く御礼申し上げます。

我々は「成長する県士会」をキーワードに学術や教育活動を推進し、作業療法の資質向上に向け広報活動や会員同士のネットワーク作りを行っているところです。当会は、会員管理をはじめ、中央のOT協会や他士会さまと

の連携や情報共有、行政機関、自治体、他職種（団体）との連携、また災害関連や防災事業に至るまで、非常に多くの役割をもつ職能団体に成長しました。一方で、各担当部門や委員会も増え、実働と管理が混ざり合っ、体制を維持することが極めて困難となってきた課題があり、数年前より組織改編を検討してきました。今回の総会では、その組織改編の説明に基づく定款の修正、および組織規程の制定の審議を頂き、代議員の皆様の承認を得ることができましたので、2025年度からは少しずつ新組織図に倣い事業管理をしていきたいと思います。ありがとうございます。新組織図は法人管理運営部門と公益管理事業部門に成り、各担当理事が横断的に関係性を深められる仕組みを作りました。新組織図の法人管理運営部門に「事務局」「財務部」「規約部」「福利部」を配置、公益管理事業部門に「学術部」「教育部」「制度対策部」「地域社会振興部」「広報部」「エリア連携部」を配置します。そして、各部門の相談役とし迅速に課題対応ができる体制を強化するため、副会長を2名から3名体制としました。また、煩雑となりやすい事務局体制には事務局長と次長の2名体制としました。そして、それぞれの事業部門の名称も「部」で統一し、その下に「課」となるように、誰が見ても分かりやすい管理体制と致しました。従前より設置されていた委員会や班は、適切にこれらの下部に所属し、統合できる事業や業務のスリム化等を検討しつつ進めていけるよう配慮しております。詳しくは、当会HP等でも順次ご覧いただけるように致します。

総会の最後には、功労表彰受賞式も執り行いました。2024年度は6名の方が受賞され、会場には3名の方が来て下さり、直接賞状と記念品をお渡しすることができました。受賞者の皆様、本当におめでとうございます。

## 第12回 定期社員総会が開催されました

令和7年(2025年)5月11日(日)神奈川県立かながわ労働プラザにおいて、一般社団法人神奈川県作業療法士会第12回定期社員総会が開催されました。定期社員総会では、組織図改編及び新役員を選出を含む6つの審議事項と2つの報告事項がありました。審議事項については代議員の皆様のご理解とご協力を頂き、全て承認となりました。議事録を県士会ウェブサイトに掲載しておりますのでぜひご確認ください。以下に審議事項と報告事項を掲載します。

### 【審議事項】

- ・第1号議案 2024年度(令和6年度)事業報告
- ・第2号議案 2024年度(令和6年度)決算報告ならびに監査報告

- ・第3号議案 定款の修正について
- ・第4号議案 規程の廃止について
- ・第5号議案 規程の制定について
- ・第6号議案 役員選挙結果について(役員改選)  
➡全て承認

理事: 神保武則・玖島弘規・青木啓一郎・野本義則・田中ゆかり・山勢健太郎・神保洋平・佐藤範明・奥原孝幸・神田崇央・村仲隼一郎・佐伯まどか・遠藤陵晃・澤口勇・佐藤隼・望月強併・佐々木秀一・石川恵美子

監事: 錠内広之・野々垣睦美

### 【報告事項】

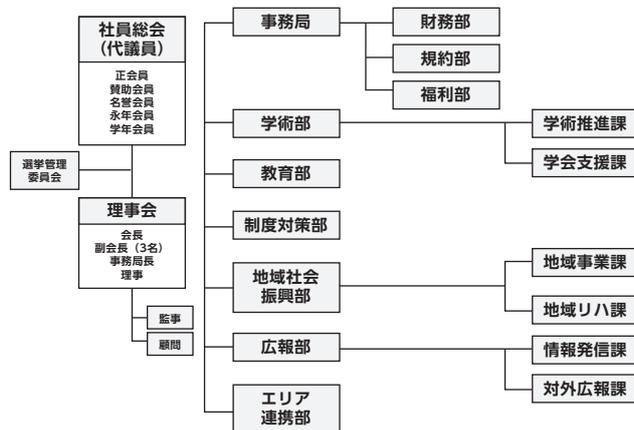
- ・第1号 2025年度事業計画について
- ・第2号 2025年度予算案について(文責 玖島弘規)

## 神奈川県作業療法士会2025年度新組織について

2025年5月11日、第12回定時社員総会が開催されました。当会としても課題に向き合える組織体制を構築し、迅速な対応ができるように2025年度より新組織体制図に則った運営体制に移行することが総会で確認されました。

今回の新組織に関しては、従来あった常設、特設委員会を各部へ集約をして、部・課・班と組織運営上わかりやすく、指示系統も明確になるように変更しました。一人の理事が主に担当している部だけではなく、担当している部を中心に県士会全体が見渡し、管理運営ができるような組織図、配置しました。具体的には、副会長を3名体制に増やし、事務部門、教育関連部門、地域広報部門に1名ずつの相談役という役割を持ち、組織全体を広い視野で横断的な運営と管理を担うことにしました。

各部に関しては、管理部門である事務局に事務機能とは別に財務部、規約部、福利部の3つの部が合流し新しい事務局としました。公益部門は学術部、教育部、制度対策部、地域社会振興部、広報部、エリア連携部と6つ部を設置し、旧地域リハ部と旧地域包括ケアシステム推進委員会と旧認知症対策委員会が統合し地域社会振興部となり、WEB対策委員会は広報部と合流しました。また、6つの部には部長、副部長と2名の理事



配置し、学術部と教育部を教育関連部門、制度対策部、地域社会振興部、広報部、エリア化連携部を地域広報部門として部長達が横断的に他の部にも関わりが持てるような仕組み作りをしました。

2025年度新組織で県士会全体がよりスムーズな運営、管理が期待でき、会員の皆様と県民の健康へ寄与できるような体制構築をしました。

各部などの詳細な説明は今後掲載が出来ればと思います。

## 2025年度 神奈川県作業療法士会 功労表彰について

2025年度 神奈川県作業療法士会 功労表彰では、長年にわたり本会および作業療法の発展に多大なご貢献をされた6名の先生方が表彰対象となりました。本年度の功労表彰者は以下の通りです。(50音順):

【木村 修介 先生、白濱 勲二 先生、小室 容子 先生、足立 雄介 先生、金沢 隆之 先生、菊地 康子 先生】

6名の先生方のうち、白濱 勲二先生、小室 容子先生、足立 雄介先生の3名が、5月に開催された社員総会において行われた表彰式にご出席されました。式では、会長より表彰状と記念品が贈られ、一人ひとりから受賞の喜びと

これまでの思いを込めた温かいご挨拶をいただきました。(文責 山勢健太郎)【表彰式の様子】



## — 登録作業療法士の誕生は2027年 準備は整っていますか? —

本年度、教育部はMTDLP推進委員会と統合し、生涯学修制度を一括して運営してまいります。担当者は神保洋平（部長）、村仲隼一郎（副部長）です。皆さまのキャリアの充実を全力でサポートしてまいります。

さて、本年度から生涯教育制度から生涯学修制度へと名称を変更し、会員の皆様の主体的なスキルアップの意味合いを強調したカリキュラムとなりました。去る4月には生涯学修制度の説明会には110名、5月には神奈川県作業療法士会のオリエンテーションを行い、60名の新卒者にご参加いただきました。皆さまの関心の高さと、ご自身の仕事人生に対し真剣に向き合う姿に身の引き締まる思いでした。これらの企画は県士会として初めての取り組みでした。OT協会、県士会への入会の後押しをサポートできるよう次年度も継続的に開催していく予定です。ぜひ、皆さまの職場の新人さんのご参加を呼びかけてください。職場の同僚や先輩からの声掛けだけでは入会の手続きに至ら

ないケースも多いことと想像しております。教育部は生涯教育推進の役割を担っております。養成校、臨床現場と連携を強め作業療法業界の質が担保された多くのセラピストが育成されるようその役目を全うしていく所存です。

今回の生涯学修制度の改定は臨床現場の新人教育がカリキュラムの一部として組み込まれております。そのためには登録作業療法士相当の先輩方のご協力が必要となっております。もし、まだ基礎研修（現職者研修やMTDLP基礎研修、実習指導者講習会など）が終了されていない方は、2027年度までに修了されるようお勧めいたします。

今年度から2年間は移行期間となっておりますので、旧カリキュラムの受講が可能です。開催日程は神奈川県士会ウェブサイトをご覧ください。募集開始は6月中旬～下旬を予定しております。ぜひ多くの参加者をお待ちしております。  
（文責 教育部長 神保洋平）

## ◎ 2025年 神奈川県庁訪問 ~ 春 ~

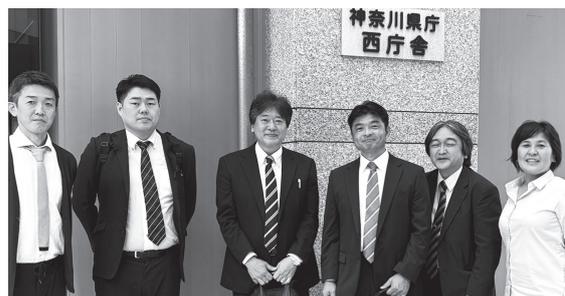
一般社団法人神奈川県作業療法士会 会長 神保 武則

5月29日、ちょうどこの時期は季節の変わり目になるであろう。横浜港からの強い海風が背中を押してくれる。前回の1月訪庁から早4か月が過ぎた。2025年度から新体制となり、最初の訪問先が神奈川県庁内にある健康医療局保健医療部となった。今回は、私をはじめ田中副会長、奥原副会長、望月事務局長、佐藤準理事、澤口理事の6名が、医療整備・人材課長および人材育成グループリーダーとじっくりと話をすることができた。実に濃厚な90分間で、将来の神奈川県民に向け、課題や対応を前向きに捉えた極めて良質な話し合いでした。実のところ、1月の訪庁では「作業療法士（OT）の役割と社会貢献等の理解」を深めて頂きましたので、今回はそこからさらに深めた話題になりました。話題の中心は、県民の健康とは何か、そして永続かつ適正に的確に健康に向き合うことへの課題を如何に認識していけるのか、高齢社会や認知症関連の課題は具体的にどのように考えていくべきか、そして対策等はどの程度されているのか、などなどです。

様々に意見交換を図る中で、OTの「健康」をみる視点や、「いのち」をつなぐ視点、OTならではの視点を丁寧に伝えました。“OTのアセスメントとは他の職種と何が異なるのかを詳しく聞きたい”、と身を乗り出して聞いて下さり、本当によく理解して頂けてきた様子がこちらにも伝わり、同席した理事もハツラツに、建設的な意見を熱く述べておりました。その姿を見て、私はとても嬉しくも爽やかな時間が過ぎているなあ、と感じつつ、『こういうのが必要なんだよねあ…』と胸の中で呟いていました。

今回、一般社団法人神奈川県作業療法士会は、OT

ならではの県民の「健康」や「いのち」をサポートする強力な医療専門職団体とし、神奈川県と足並みを揃える事業構想を進めるための布石を置くことができたと思います。また一つ、成長を遂げる糧ができそうです。当会は、以前よりOTのための、OTによる、OTを必要とする人々のための“人材バンク”の設立を念頭に描いておりました。今後数年の間（近い将来）で、県内に在住する様々に得意をもつOTたちに集結していただき、人材バンクの整備と準備をしていきたいと考えております。作業療法士は「健康」や「いのち」を考え、『生活』や『生き甲斐』を創り出す専門職。質的な側面にも快くサポートが果たせる作業療法士という職種。作業療法士たちの楽しい未来を創造する切り札とし、今までにない作業療法の概念が神奈川県にモデル事業構想として実現しようとしています。今回の話し合いの内容も神奈川県健康医療局内で共有し、県としてもどんな事業ができるか検討して下さることになりました。まだまだやることは沢山あります。やることあるから成長もできるはず。皆さまとも色々意見交換ができると良いですね。また報告致します。



# 理事会議事録

## ★ 2025年度 第1回理事会 議事録 2025.4.17

日 時: 2025年4月17日(木) 19:00~21:25

開催方式: オンライン開催

場 所: 各自自宅または職場

出席理事: 神保武則(会長)、田中ゆかり(副会長)、吉本雅一(副会長)、玖島弘規(事務局長)、望月強併、野本義則、澤口勇、遠藤陵晃、青木啓一郎、佐々木秀一、神田崇央、神保洋平、金山桂、佐藤隼、佐藤範明、山勢健太郎

欠席理事: 奥原孝幸

出席監事: 錠内広之、野々垣睦美

その他出席者: 村仲隼一郎氏、佐伯まどか氏、石川恵美子氏

### I. 会長より挨拶

今日は申し送りを兼ねて新理事候補の3名も参加して頂いております。また今期で終了となる2名の理事もいます。最後に一言いただければと思います。国際医療福祉大学の入学式に参加し、小田原市長も出席していました。市長から作業療法も力をくださいとのコメントを頂きました。併せて県庁訪問も行いOTの説明を行い、有益な時間が持てました。OTを知らない状況からのスタートですが、我々も手を取り合い新たな推進力を作ればと思います。

### II. 審議事項

1. 後援依頼について(事務局)  
第52回SIG車いす講習会  
➡賛成多数で承認
2. 部員申請について(事務局)  
➡賛成多数で承認
3. 組織改編に伴い必要な定款、規程の修正について(規約委員会)  
➡賛成多数で承認
4. 県士会表彰について(福利部)  
➡賛成多数で承認

### III. 報告事項(各部署・理事・三役)

1. 財務部
  - (1) 期末監査報告について  
監査報告参照
  - (2) 会計マニュアル変更について  
マニュアルを用いて修正点について説明。役員改選もあるため、新理事が決定後、会計説明会を実施していく。
2. 認知症対策委員会
  - (1) 認知症アップデート研修(地域編)実施報告  
テーマ『認知症フレンドリー社会の実現に向けて - オレンジイノベーションプロジェクトにOTとしてできること -』  
日時: 2025年3月28日(金) 19:00~21:00  
オンライン  
講師: 小河原氏(県立大)、高橋氏(日本総研)、井上氏(神奈川県未来戦略本部) 27名参加。それぞれの講

師から取り組みについて講義を頂いた。

### 3. 地域包括ケアシステム推進委員会

#### (1) 第3回地域事業支援会議

令和7年3月9日(土) 9:00~12:30で開催された。47都道府県の代表者が参加。マネジメントの進捗について共有。神奈川県での取り組みについて発言した。どこの県も研修会の実施が多く、担当配置は出来ても後任の育成がなかなか難しい状況。大阪府では市町村担当者同士の情報共有会を実施している。

### 4. 制度対策部

#### (1) 自動車運転班

- ① 神奈川県指定教習所協会と県内の実車評価を実施する際の概要を協議中。
- ② 神奈川県内で実車評価を行う際の概要・教習所への情報提供用の支援シートを作成。
- ③ 5月開催予定の免許センター見学会の開催に向けての協議。2025年5月22日(木)16:00~1時間実施予定。参加人数15名、今後募集予定。

### 5. 学会評議委員会

#### (1) 第20回神奈川県作業療法学会について

演題採択について、一般演題45演題(チャレンジ10演題、口述21演題、ポスター14演題) エントリーがあり査読を進めていく。広報について、県士会ニュース(郵送6月、8月)、ホームページ、SNSで広報を行う他、県民へは地区センターや地域包括支援センター等への郵送を検討。

#### (2) 第7回臨床大会進捗状況

2025年3月10日に第7回臨床大会のキックオフミーティングを実施。実行委員長は須藤淳氏(横浜市立脳卒中・神経脊椎センター)、財務担当は佐藤範明氏(神奈川県立保健福祉大学)が内定している。

#### (3) 第6回臨床大会報告

決算書報告

### IV. 報告事項(その他)

#### 1. 遠藤理事

地域リハビリテーション三団体協議会の報告。

2024年年度末に3士会の計画について協議を実施。三団体協議会において災害の研修会を開催予定で担当が当士会となっている。予算も含めて当士会での対応が難しいようであれば言語聴覚士会が対応することも可能との回答を得ている。

#### 2. 神保理事

新生涯教育制度の説明会を実施。2回開催で既卒者向けは約80名の参加予定。新卒者向けは7名の予約。新卒者には告知をお願いしたい。

➡本年度より新卒入会者は初年度年会費及び入会金無料のため告知も進めてもらいたい。

#### 3. 神田理事

選挙管理委員の任期が総会終結日までとなっているが次期の委員選出について声掛けが必要ではないか。

➡任期確認していく。

### V. 監事より

#### 野々垣監事

退任される2名の理事の方お疲れ様でした。新任の3名の方、会員の意見を積極的に出して頂ければと思います。

錠内監事

新任の理事の方もこれからよろしくお願ひします。退任される2名の方お疲れさまでした。県士会も今後積極的に活動していければと思います。総会後は理事の互選で三役が決まりますので、立候補すれば意見を言える場が出来ますので、積極的に参加してほしいと思います。

★ 2025年度 第2回臨時理事会 議事録 2025.5.11

日時:2025年5月11日(日) 12:35~13:50

場所:神奈川県立労働プラザ

出席理事: 神保武則、田中ゆかり、望月強併、奥原孝幸、澤口勇、遠藤陵晃、神田崇央、神保洋平、佐藤範明、玖島弘規、佐藤隼、山勢健太郎、佐々木秀一、村仲隼一郎、佐伯まどか、石川恵美子

欠席理事:野本義則、青木啓一郎

出席監事:錠内広之、野々垣睦美

その他出席者:池田公平(選挙管理委員長)

I. 三役選出

1. 三役立候補者の確認

池田選挙管理委員長から三役互選に関する手順の説明がなされたのち、会長、副会長、事務局長の立候補を募った。

1) 会長立候補者

神保武則理事(北里大学病院)

2) 副会長立候補者

田中ゆかり理事(藤沢市保健医療センター)

奥原孝幸理事(神奈川県立保健福祉大学)

遠藤陵晃理事(横浜YMCA学院専門学校)

3) 事務局長立候補者

望月強併理事(日本鋼管病院)

2. 会長の選出

神保武則理事が立候補理由を述べたのち、質疑応答を行った。

1) 立候補理由

2期4年の任期を受け、再度立候補させて頂く。行政との関わりにおいても少しずつ関係性が築けてきている。今後さらに地域への取り組みを強化していく必要がある。当会の組織率も減少してきている中で課題はたくさんあるが取り組んでいきたい。

2) 質疑・応答

山勢理事: 既存のスタッフの入会者数を増やすことに対して具体的な取り組みはあるか

神保理事: 大きな組織へのアプローチやOTの魅力やニーズを発信していきアピールしていく。情報発信のツールなどを検討していきたい。

佐藤範明理事: 市区町村との関わりをしながらボトムアップ的に取り組んでいくのか県庁にダイレクトにアプローチしていくのか方針があればお聞きしたい。

神保理事: 両者が必要。市区町村にも足を運びながら関係性を築いていきたい。

澤口理事: 三役会と理事会との関係性について、三役会からのレスポンスが悪く改めてもらいたい。理事会のたびに意見を挙げてきたが、それに対する回答が得られないままとなっている。三役会だけで進めないで共有してってもらいたい。進め方について理事会で話し合う場を設けてもらいたい。

神保理事: 三役会へのご意見として受け止めた。組

織改編がある中で役割分担や構成を考えていきたい。  
⇒立候補者が定数のため無投票にて当選となる。

3. 副会長の選出

田中理事、遠藤理事、奥原理事が立候補理由を述べたのち、質疑応答を行った。

1) 立候補理由

田中理事: 会員一人一人が参画してもらえるような企画を提案していきたい。女性の理事も増えて活躍できる場面は多くあると思うので、その力を活かしていきたい。副会長として幅広く活動を見ていきたい。

遠藤理事: 三団体活動の副会長を務めており、多団体との関わりに力を注いできた。今まで経験してきた地域との関わりを軸に今後も活動をしていきたい。OT協会でも地域支援事業に携わっており、そこでの活動を県士会の活動に活かしていきたい。

奥原理事: 与えられた立場や役割を遂行していく。組織改編の中で組織の形が作っていただけるように取り組んでいきたいと考えている。

2) 質疑・応答

神田理事: 遠藤理事が担っている業務の引き継ぎはどのようになるのか。

遠藤理事: 地域リハ部や地域包括ケアの部員に移行していく予定。活動が滞らないよう進めていく。

佐々木理事: 会員増に向けた取り組みと組織改編の中で安定した運営ができるよう考えていることはあるか。

田中理事: 退会者への取り組みを考えている。特に産休、育休や介護明けの方々が活躍できる場を作りたい。会員同士が繋がり合う機会を作る。組織運営については、マニュアル作成や誰がやってもできるような体制を構築していく。

遠藤理事: 養成校への取り組みは継続しつつ、職場の所属長などにアプローチしていく。運営については、女性会員も参加しやすい会議の開催などを通して定着している。またOTの成り手を増やす取り組みとして、養成校に入る前の人達へ、理事と力を合わせて取り組んでいきたい。

奥原理事: 組織運営については、動かしながら意見を参考に進めていくしかないと考えている。どのような動きをしているのかは把握する必要があると思う。各部署の繋ぎ役として務めていきたい。会員増については、数としてのアウトカムは示せると思うが具体的な数値は出しにくい。様々な取り組みにチャレンジしていきながら進めていきたい。

⇒立候補者が定数のため無投票にて当選となる。

4. 事務局長の選出

望月理事が立候補理由を述べたのち、質疑応答を行った。

1) 立候補理由

財務部の活動を通して、事務部門の取り組みを理解してきた。事務局員との関わりもあり立候補させて頂いた。事務局の課題はたくさんある中で取り組んでいきたい。

2) 質疑・応答

佐藤隼理事: 情報のツールや管理、レスポンスについてお考えはあるか。

望月理事: 情報ツールの統一は必要。Googleのクラスルームの活用を検討している。メールの返信については副会長とも協働して取り組んでいきたい。事務局員の増員は喫緊の課題であり、常勤の採用も含めて検

討していく。

佐々木理事：研修会参加者の会員確認がOT協会のポータルサイトで閲覧できるのでそれで確認できないか。またメールアドレスの情報などを取得できないか。  
望月理事：システムについては意見交換をさせて頂きながら進めていく。

⇒立候補者が定数のため無投票にて当選となる。

以上より、会長に神保武則理事(北里大学病院)、副会長に田中ゆかり理事(藤沢市保健医療センター)と奥原孝幸理事(神奈川県立保健福祉大学)、遠藤陵晃理事(横浜YMCA学院専門学校)、事務局長に望月強併理事(日本鋼管病院)が決まった。

5. 会長就任挨拶

神保会長より就任の挨拶がなされた。また各理事の担当部署についてはヒアリングをしながら決めていく。部員についても検討しておいてほしい。

II. 審議事項

1. 組織規程の変更について(神田理事)

組織規程において部長の任期は2年となっているため、本会議で担当部署を決定する必要がある。この場で担当部署を決定するか規程の変更を提案したい。

組織規程の変更を検討し、以下の提案がなされた。

組織規程第7条「部長の任期は、就任した理事の任期とする」

⇒賛成多数で承認された。

III. その他

1. 山勢理事

新入会員オリエンテーションを6月29日(日)にIMS横浜国際看護専門学校で開催予定。例年通り学術部とのコラボ企画で開催する。ご都合がつかう方はぜひ参加して頂きたい。

以上 (池田公平(選挙管理委員長)、玖島弘規)

各部からの報告 / WEB管理対策委員会

ウェブサイト管理委員会 県士会サイト  
スペシャルコンテンツ紹介

県士会サイトには、研修会情報や求人情報のほかにも、さまざまなスペシャルコンテンツがあります。今回はその中から「作業療法お役立ちコンテンツ」をご紹介します。

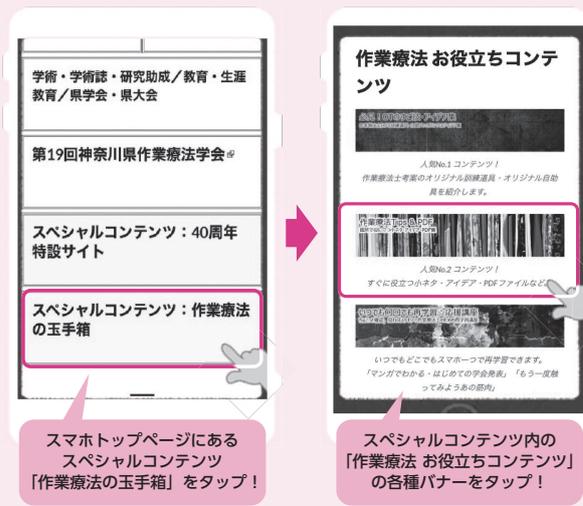
「作業療法お役立ちコンテンツ」では、3つのコンテンツが整備されています。「必見！OTのすぐ技・アイデア集」では、オリジナルの訓練道具や自助具を紹介しています。

「作業療法Tips & PDF」では、臨床に役立つ小ネタ・アイデア・PDFファイルが掲載され、「いつでも何回でも再学習☆応援講座」ではすぐに確認でき、見ればスッキリする再学習講座が提供されています。

いずれのコンテンツも、日々の臨床に役立つものばかりです。3つのコンテンツを、ぜひ一度、直接ご確認ください。県士会サイトには、まだまだ楽しいコンテンツがたくさんあります。会員の皆様も、ぜひさまざまなコンテンツに触れてみてください。

(文責 広報部 佐藤範明)

図)【作業療法お役立ちコンテンツ】  
閲覧方法(スマホVer.)



求人案内 作業療法士 募集

医療法人 興生会 相模台病院

募集人員：常勤 1名

施設概要：病床306床(一般科151床、155床 精神科)

精神科病棟と認知症病棟および同一法人内の訪問看護ステーションからの訪問リハビリテーション、病院の疾患別リハビリ、地域包括医療病棟に配置し、病院内や関連施設の老健リハスタッフとも連携しながらリハビリの提供を行っています。

給 与：当法人規定による

福利厚生：各種社保完備、退職金制度有り。

勤務時間：8:45~17:15(休憩1時間) 実働7.5時間

休日休暇：シフト制(年間123日※年度によります)

応募方法：履歴書、職務経歴書、資格証の写しを郵送(できたらホームページ採用情報内の応募フォーム、電話又はメールでご連絡ください)

交 通：小田急線「小田急相模原」より送迎バス通勤利用可能(徒歩17分)など。

問い合わせ先等

医療法人 興生会 相模台病院

〒252-0001 神奈川県座間市相模が丘6-24-28

TEL：046-256-1047 (人事課)

EX-ル：hr@i-koseikai.com

HP：http://i-koseikai.com

担当者：人事課 金子



(応募・問い合わせフォーム)

## 連載

生活行為向上マネジメント(MTDLP)推進委員会からのお知らせ  
～ MTDLPいち推し～

## MTDLPは、よりよい作業療法実践を目指す一つの手段です！

本年度より、奥原理事から引き継ぎ、教育部・MTDLP 推進育成課の長を務めることとなりました村仲隼一郎です。

本年度の組織改編により、MTDLP 推進委員会は教育部の中での組織と位置付け「教育部・MTDLP 推進育成課」へと名称を変更いたしました。新体制のもと、さらなる活動の充実と発展を目指してまいります。

MTDLP 基礎研修につきましては、昨年度に引き続き対面形式での実施を予定しております。また、事例検討会については、発表者のご希望を伺いながら、MTDLP 指導者を目指すのか、それとも実践発表として取り組むのか等、目的に応じて内容を調整し、より実りある場となるよう工夫を重ねていきます。

ここで、MTDLP 指導者を目指す方への重要なお知らせがあります。これまで、指導者資格を得るためには事例報告制度の審査に合格するという大きなハードルがありました。私自身も長年その審査に携わってきた立場として、その難易度の高さを実感しておりました。しかし本年度からは、審査方法が紙ベ

スから口頭試問へと改正され、指導者取得の難易度が下がったと感じています。つまり、多くの方に MTDLP 指導者への道が開かれたと言えるでしょう。この好機を逃さず、神奈川県士会 MTDLP 推進育成課では、指導者合格に向けた手厚いサポート体制を整え、皆様を全力でバックアップしてまいります。

MTDLP は、作業療法の実践プロセスを明確に説明できる有用なツールであると考えております。ビギナーからベテランまで、すべての作業療法士が日々の臨床で活用し、作業療法の有効性を国民に示していくための支援を、今後も積極的に進めてまいります。

今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。ご意見やご相談、ご要望などがございましたら、ぜひお気軽にお寄せください。県士会ニュースやウェブサイトでも、随時最新情報を発信してまいりますので、ぜひご確認・ご活用ください。  
(文責 教育部副部長・MTDLP 推進育成課 村仲隼一郎)

## OTが知っておくべき制度情報コーナー 第12回目

## 医療保険・介護保険における作業療法算定について

制度対策部 担当理事 佐藤 範明

神奈川県作業療法士会会員の皆さん、こんにちは。制度対策部です。本コーナーでは「作業療法士が関わる諸制度(法律)」を含め、皆様のお役に立つ法令などの情報を発信いたします。本日は、2025年5月23日に実施された日本作業療法士協会の担当者会議で共有された情報を、4点ご報告いたします。

## 1. 介護医療院における国保連合会の指摘について

東京都作業療法士会では、東京都国保連合会より、介護医療院における作業療法に係る特別療養費の適否を判断しかねる事例が散見され、指摘がありました。

指摘を避けるためには、要介護4・5の場合であっても、作業療法を算定する際には、摘要欄に「作業療法」算定の必要性が判断できるよう、利用者の状態やリハビリの目的などを明確に記載する必要があります。

## 2. 診療報酬における職種の明記について

令和6年度診療報酬改定にともない、疾患別リハビリテーション料について、リハビリテーションを実施した職種ごとの区分が新設されました。しかし、作業療法士による運動器リハビリテーション料や心大血管疾患リハビリテーション料の返戻事案が発生しています。

返戻の要因として、不適切な作業療法の実施(機能ばかりの支援)と判断された背景があります。そのため、作業療法士はICFの「活動」と「参加」、そして「生活」を診る専門職であることを発信し、専門性を発揮した質の高い臨床実践が求められています。

## 3. 介護保険領域における現状と制度について

サービスの形態や機能に応じて、ADL・IADLや社会参加の支援を通じて役割を果たしています。一方で、事例に対する介入が機能訓練に終始した(ADL・IADL練習、社会適応練習が実施されない)ケースが約40%認められ、応用的訓練や社会適応的訓練の実施が求められています。

## 4. 精神科における現状と制度について

精神科棟入院基本料、精神科急性期治療病棟入院料、児童・思春期精神科入院医療管理料の見直しにともない、データに基づくアウトカム評価を推進していきます。今後は、退院に向けた会議の開催状況(退院に向けた会議への参加職種)、個別支援の実施状況(作業療法士による個別作業療法の実施回数)、外出や外泊の実施状況(患者の訪問に同行した職種)、障害福祉サービス等との連携に関する情報において、職種ごとの参加・実施回数を提出する必要があります。

全国的に医療の質の低下が指摘されており、作業療法も例外ではありません。作業療法士には、専門性を発揮した質の高い臨床実践が求められています。「機能」ではなく「生活」を診る専門職であり、ICFの活動と参加に焦点をあてた実践報告が必要です。

作業療法ガイドライン、疾患別ガイドライン、関連学会のガイドラインに準じた適切な臨床実践を行うとともに、学会発表や論文執筆を通じてエビデンスを蓄積していくことが求められています。国民に信頼される「生活支援の専門職」として、本来の役割を果たすことの重要性が共有された会議でした。



神奈川県自動車運転に  
関するアンケートはこちら



ブログ版カナドラは  
こちら

## ～神奈川県免許センター意見交換会2025について～

制度対策部自動車運転班 渡辺 謙斗

制度対策部自動車運転班のブログ「カナドラ！」(下記QRコードよりブログチェックをお願いします!)の県士会ニュース出張版第18回となりました。今回は、先日、自動車運転班として初めて開催した「神奈川県免許センター意見交換会」についてご報告させていただきます。私たち自動車運転班は、2017年の班発足時より神奈川県警察との連携がとりやすくなるよう交流の機会を設けていました。2020年以降は神奈川県内でも自動車運転支援を行なう施設が増加しており、私たちの研修会におけるアンケートでも「臨時適性検査の実際の場面を見たい」という声が多く寄せられていました。そこで実際に県内で運転支援を行っている方々が免許センターを見学できるような企画を打診し、今回の意見交換会開催に至りました。

5月22日・6月12日に実施した意見交換会では実際の臨時適性検査で使用しているシミュレーターの見学に加えて、免許センター内の見学や適性審査係の方との質疑応答を含む意見交換ができました。シミュレーターは代表者だけではありませんが、適性検査で実際に使用しているソフトを体験させていただきました。「臨時適性検査ではどのようなことが行われ

ているのか」「県警が求める医療的情報にはどのようなものがあるのか」といった点についても、直接お話を伺う貴重な機会になりました。

平日の夕方の限られた時間内での開催となりましたが、実際の適性検査の場を確認することができたり、質疑などを通して少しではあるかもしれませんが臨床での疑問が解消されていたらと考えています。

今後は適性審査係の方と作業療法士とでの意見交換を、もう少し長い時間できるような企画を用意できればと考えています。



今年度も自動車運転班では、引き続き免許センターや教習所協会等の方々との連携を図っていき、皆様に情報発信できればと思っています。自動車運転に関わるご相談や共有事項があれば県士会自動車運転班宛にお気軽にご連絡ください！引き続き自動車運転班は、研修会・ブログ等での情報発信を行ってまいりますのでよろしく申し上げます！！  
\*写真は意見交換会中の様子(参加者のみ写らせていただいています)

### 事務局からの お願い

- 届出内容を変更される方 住所・勤務先・氏名・送付先等の変更がある方は、『登録内容の変更届』を ①郵送 ②FAX ③電子メール(kaiin@kana-ot.jp)にてご提出願います。(随時受付)
- 休会される方 来年度に休会予定の方は、前年の**12月31日**(末日消印有効)までに ①『休会届』と ②『証明書』を郵送でご提出願います(FAX不可)。
- 退会される方 年度内に退会予定の方は、**3月15日**までに『退会届』を ①郵送 ②FAX ③電子メール(kaiin@kana-ot.jp)にてご提出願います(上記日必着)。

届出書類は、神奈川県作業療法士会ホームページ公式**ウェブサイト**のINDEXより、ダウンロード可能です。なお期日までにご提出いただけない場合は、次年度の会費が自動引落しとなり、返金を致しかねます。

### 編集 後記

毎日のように酷暑で、疲労が溜まりやすい時期になりましたが、いかがお過ごしでしょうか？仕事や作業を行うには休息とのバランスが大事になりますね。対象者の作業バランスも見つつ、自分もまた元気に過ごせるように工夫したいものです。(さとめぐ)

## 一般社団法人 神奈川県作業療法士会ニュース 〈234号〉2025年8月発行(年5回発行)

発行責任者 神保 武則  
編集責任者 野本 義則  
編集担当 出口 弦舞(国際医療福祉大学 小田原  
保健医療学部 作業療法学科)  
山岡 光(湘南慶育病院)  
佐藤 愛(悠の木株式会社)  
丸岡ちひろ(済生会横浜市東部病院)  
松井 洋鷹(淵野辺総合病院)  
碓屋 瑛理(佐藤病院)  
印刷 発送 株式会社高陽印刷所

事務局 〒231-0011  
横浜市中区太田町4-45 第一国際ビル 301号  
TEL/FAX：045-663-5997  
月火水木金 10：00～15：00  
メールアドレス：jimu@kana-ot.jp

一般社団法人 神奈川県作業療法士会ウェブサイト  
https://kana-ot.jp  
➔ **作業療法 神奈川 検索**



Facebook https://www.facebook.com/kaotwebkan  
X https://twitter.com/kaotwebkan